

本時のねらい

・大造じいさんの気持ちを本文から読み取り、残雪に対する気持ちの変化を理解する。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・デジタル教科書やオクリンクを用いて、大造じいさんの気持ちを表す記述を探し、本文に線を引く。その後、スクリーンショットをオクリンクで提出し、大造じいさんの気持ちをプリントにまとめる。
・オクリンクを活用することで、挙手での発表では意見を出すことが苦手な児童の意見もふくめ、多様な意見を共有する。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ iPad ・ デジタル教科書 ・ オクリンク ・ AppleTV

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○第一場面の大造じいさんの気持ちを表す記述を探し、プリントにまとめたことを確認する。	
展開 (30分)	○大造じいさんの気持ちを表す記述を探しながら、第二場面を音読する。 ○デジタル教科書で、大造じいさんの気持ちを表す記述を探し、線を引く。 ○線を引いたページ全てをスクリーンショットし、オクリンクで提出する。 ○全体で共有し、プリントに大造じいさんの気持ちをまとめる。	○デジタル教科書上では、何度も線を引き直すことができるということ共有し、児童の考えをできるだけたくさん出させる。 ○挙手による発表よりもオクリンクでの提出により、多くの意見を共有することができる。
まとめ (15分)	○第一場面と第二場面の気持ちの変化や違いを確認し、その後全体で本時を振り返る。	

1人1台端末を活用した活動の様子

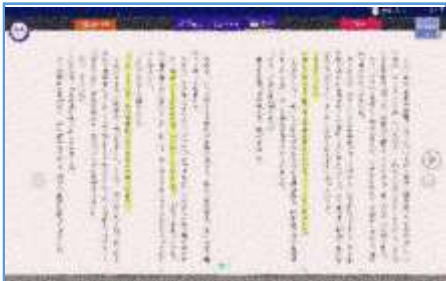


写真1：デジタル教科書で、大造じいさんの気持ちを表す記述に線を引く様子。



写真2：大造じいさんの気持ちを表す記述に線を引いている様子。



写真3：オクリンクに提出されたスクリーンショットを一覧表示し、全体で共有する様子。

児童生徒の反応や変容

・単元終了後の学習の振り返りで「読み取りがしやすかった。」や「意見を出しやすかった。」というデジタル教科書とオクリンクの組み合わせに対する児童の肯定的な感想が多数あった。
・プリントにまとめる活動でも、自分が提出したものをもとに、まとめを書き進めていけることに達成感を持つ児童もいた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・教科書等の紙に線を引くよりも、何度も試行錯誤できるデジタル教科書の実践は学級の児童の実態にあっていたので、今後も継続していきたい。